

平成20年6月25日
消 防 庁

「消防機関における新型インフルエンザ対策検討会」の発足

新型インフルエンザの国内発生に備え、消防機関における新型インフルエンザ対応体制を一層強化し、業務継続のあり方等を検討するため、「消防機関における新型インフルエンザ対策検討会」を発足することとしたのでお知らせします。

1 背景

新型インフルエンザ発生時においては、消防機関が初動対応を実施する可能性が高いため、総務省消防庁としては、これまでも、感染防御資器材の配備や新型インフルエンザ発生時の対応に関する計画の整備等を促進してきたところです。

これらの対策に加え、新型インフルエンザの発生に備え、消防機関において業務継続計画を策定することが喫緊の課題であることにかんがみ、新型インフルエンザ発生時の消防機関における業務継続計画ガイドラインの策定を主な目的として新たに検討会を発足することとしました。

2 検討内容

- ・ 新型インフルエンザ発生時における消防・救急機能を維持するための業務継続計画ガイドラインの検討
- ・ 新型インフルエンザ発生時における救急搬送体制のあり方の検討
- ・ 新型インフルエンザ発生時の消防機関の対応に係る今後の検討課題の抽出

3 日時等

平成20年6月30日（月）に第1回検討会を開催します。

今後、平成20年度中に検討会を4、5回程度開催し、新型インフルエンザ発生時の消防機関における業務継続計画ガイドラインを含む報告書を取りまとめる予定です。

4 構成員等

別紙のとおり。



(連絡先)

消防庁救急企画室

担当：溝口専門官、奥田事務官

電話：03-5253-7529

FAX：03-5253-7539

消防機関における新型インフルエンザ対策検討会 構成員

(五十音順・敬称略)

- 青 山 充 (茨城県保健福祉部保健予防課長)
- 岩 崎 齊 (千葉県総務部消防地震防災課長)
- 大 友 康 裕 (東京医科歯科大学大学院教授)
- 岡 部 信 彦 (国立感染症研究所感染症情報センター長)
- 小 倉 松 夫 (成田市消防本部次長)
- 川 端 信 正 (日本災害情報学会事務局長)
- 田 谷 聡 (一橋大学大学院法学研究科教授)
- 都 築 勇 次 (常滑市消防本部消防署副署長)
- 野 口 英 一 (東京消防庁救急部長)
- 半 田 和 雄 (和歌山県危機管理局消防保安課長)
- 平 島 昭 (大阪市消防局救急・情報通信担当部長)
- 福 嶋 賢 司 (福岡市消防局警防部長)

(オブザーバー)

- 難 波 吉 雄 (厚生労働省健康局結核感染症課新型インフルエンザ対策推進室長)